

2024年1月15日

都道府県加盟組織 御中

一般社団法人 全国腎臓病協議会  
災害対策本部長 池田 充  
災害対策委員長 玉置 幸利

### 令和6年能登半島地震について（1月15日現在）

加盟組織をはじめ全国の患者・家族、企業など、能登半島地震で避難生活を送る患者にむけたお見舞いや応援の声が届いているところです。

1月15日（月）現在の状況について、以下にまとめお知らせします。

#### 【石川県の状況：玉置災害対策委員長より】

- 災害発生当初、緊急で福井県、富山県に移送された透析患者は、現在石川県に戻り、金沢市内を中心に県内の施設で透析を受けている。
- 県腎協として石川県透析連絡協議会、病院等と連携して情報収集している。
- 透析患者で亡くなった情報は現在のところ無い。

#### 【富山県の状況：富山県腎友会事務局より】

- 県内複数の透析施設が被害を受けた。とりわけ被害の大きかった氷見市では3施設が被害を受け、一時他の施設で透析を受けたり、自施設で透析が受けられても短時間透析を余儀なくされた患者もいた。これらの施設では8日までに通常透析に戻っている。
- 一方で、自宅が半壊・浸水等で住めず、家族が用意してくれたアパートで生活し、そこから近くの透析施設に通っている者もいる。
- 10日現在断水の被害を受けている患者もいる。
- 会員の被災状況については今後本格的に調査を行う予定。

#### 【新潟県の状況：新潟県腎協事務局より】

- 現在は通常透析に戻っているが、発災当日は透析が中止され翌日透析に切り替わったところ、短時間透析で対応したところもあった。
- 一部地域では液状化現象で住宅に被害が出ているところもある。
- 住宅に被害の出た会員もいる。

被害に遭われました会員はじめご家族の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。いまだ大きな余震が続くなか停電に断水と心休むことのない生活を強いられている皆さまに一日でも早く復興され普段の生活に戻れることを祈念いたします。